



安定した 営農を 目指して

近未来型アグリハウス

アグリソーラーハウスは農家様の収益を上げ、安定した営農を行う為に開発されました。農業用ビニールハウスやガラスハウス同等の機能・使い勝手を実現したまったく新しいカタチのアグリハウスです。

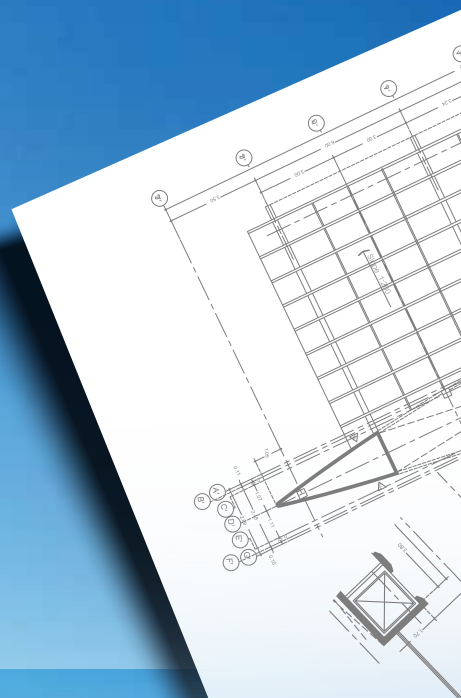


農作物に最適な設計で 営農を完全サポート！

昨今の気候変動に伴う天候不順に対応するには、農業用ビニールハウスのような閉鎖型農業設備が好ましいとされています。

アグリソーラーハウスでは閉鎖型農業設備に加え、太陽光モジュールの最適な配置や透明パネルを使用することで、遮光率を約30%まで下げることが可能になり、あらゆる農作物の栽培に最適な環境を確保することに成功しました。

また、ビニールハウス・ガラスハウスの代用となり、機能的にもサイド換気や農事用換気扇の使用など、市販のビニールハウス資材をそのまま使うことができます。



Agri × Solar × House

農業ならではの太陽光発電

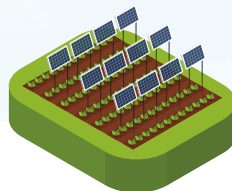
FIT※全量買い取り可能

■従来の低圧野立て太陽光発電所



発電した電気の一部を自家消費しなければなりません。

■農地の一時転用太陽光発電所

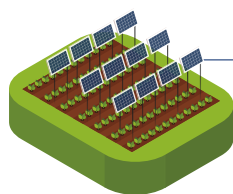


アグリソーラーハウスなどの農地の一時転用などにおいては、「10年許可」が認められれば全量FIT、つまり全ての電気の買い取りも可能になります。

※FITとは太陽光や風力などからつくられた電気を指定の価格と指定の期間固定で買い取りする制度です

弊社ならではの太陽光発電

進化したソーラーシェアリング



売電収入

農業収入



ソーラーシェアリングは発電した電気を販売することや農事用として自家消費することもでき、農業経営における収益性を高め、安定した営農を行う仕組みとして近年注目されています。アグリソーラーハウスはソーラーシェアリングをさらに進化させ、農業用ビニールハウスやガラスハウス同等の機能・使い勝手を実現しました。

弊社ならではの太陽光架台

強度計算書の発行が可能

JIS

JAPANESE
INDUSTRIAL
STANDARD

■JIS C 8955(2017)

太陽光設備に使用される架台は、JIS C 8955(2017)「太陽電池アレイ用支持物の設計用荷重計算方法」で定められておりそれを遵守しなければなりません。その一方で太陽光架台は強度計算を行う事が難しく、多くの太陽光施工業者も弊社と同様の発想があってもそこがネックになり、架台の開発が出来ないという状況に陥っています。

弊社と契約している設計事務所では強度計算を行う事ができ、架台では国内でも数少ない正式な「強度計算書」を発行することができます。



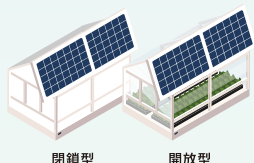
AGRI SOLAR HOUSE

アグリソーラーハウス

9つの特徴

01 閉鎖型/開放型 双方に対応

閉鎖型/開放型双方に対応することができ、栽培品目に応じてビニールシート・遮光ネット・防虫ネットを取付ける事ができます。



閉鎖型 開放型

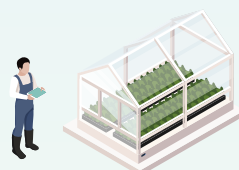
02 あらゆる 気象条件に対応

アグリソーラーハウスは専用設計が可能。設置地域の気象条件に合わせた設計で、あらゆる地域への対応が可能です。



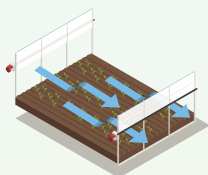
03 ビニールハウス並みの 取り扱いやすさ

外装部材にビニールハウス部材を使用しており、ビニールハウスに慣れた農家であれば扱いがとて簡単です。



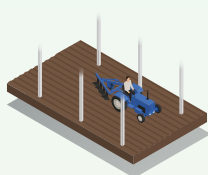
04 巻き上げ装置で 温湿度管理

サイドには巻き上げ装置を設置することが出来るので、ハウス内全体の換気が可能になります。



05 農作業を考慮した ゆとりの空間

農作業の作業効率を考慮し、ハウス内の支柱の間隔を3.3m~4m確保することができます。



06 遠隔制御システムも 設置可能

農業IoTシステムを組み込むことで、自動制御や遠隔操作が可能になります。



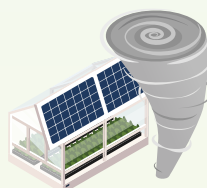
07 強度計算書の 発行が可能

アグリソーラーハウスの太陽光架台はJIS規格をクリアしており、強度計算書の発行が可能です。



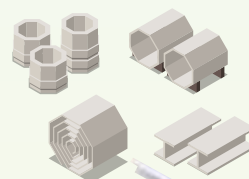
08 強度重視の架台で 自然災害にも安心

また強度重視で堅牢なスチール製架台を採用しており、台風や強風などに非常に強い作りになっています。



09 専用設計と規格品 で低コストを実現

専用設計と規格品を多数採用して、可能な限りの低コストを実現させました。



NEXTアグリサポート

ソーラーシェアリングに興味があっても
こんなお悩みありませんか？

- ✓ どんな農作物が出来るの？
- ✓ 農業のノウハウがない！
- ✓ まずは何から始めればいいのか？



サポートはわたしたちにお任せください！



弊社では、果樹専門家の大森直樹や日本きのこセンター普及指導員と共同でアグリソーラーハウスと親和性が高く収益性の高い農作物のご提案を行っています。

また、有償となりますが専門家による栽培コンサルティングサービスが受けられますので、今後果樹園・観光農園の事業化を計画している企業や新規就農者にとって魅力的なサービスとなっています。

◎おすすめの農作物

果樹



イチジク



ライチ



いちご



ブドウ

原木椎茸



菌興115



菌興118

◎専門家・普及サポーター

果樹担当：大森直樹(専門家)



NHKの「趣味の園芸」などテレビでも活躍する果樹栽培の第一人者。

大学卒業後、種苗会社での修行や、ブドウのメリクローン技術を用いたウィルスフリー株養成についてニュージーランドで学ぶなど果樹栽培の多くの経験を積む。

帰国後は、実家の果樹苗生産を手伝いながら農学部の大学院で果樹の研究に没頭。その一方通信販売、種苗店経営、コンサルティング、大手種苗会社への納品など果樹に関する活動は多岐にわたる。

現在は生産農家を幸せにしたいという想いから、果物生産を生業にしている人が困っていることを調べ、その解決に向けての助言をしたり農家や企業をサポートするなど地元岡山中で活動中。

原木椎茸担当：日本きのこセンター普及指導員



一般財団法人日本きのこセンターは、全国に11ヶ所に技術指導員の駐在所があり担当地区の技術指導員による現地指導が行えます。

また、オンラインでは弊社原木椎茸栽培担当責任者の大塚が担当させていただきます。

果樹園・観光農園の事業化を計画している企業の皆様へ

農業は農家がするものと思っておられませんか？

もうそんな時代ではありません。農業も企業が事業として行う時代になりました。

近年、国内外の企業や行政による大規模な果樹園や観光農園の事業化が増えています。味・香り・外観に優れる日本の果物は、海外でも大変高く評価されていますが、その一方で、自然を相手とする農業ならではの予測しづらいリスクへの不安が多いのが実情です。

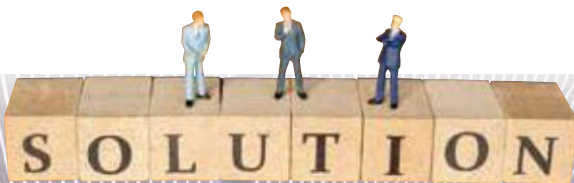
弊社では事業計画から施工、現地での栽培技術指導までトータルにお手伝いするソリューションを提供しております。



新規就農や農業従事者への転職を計画している方へ

新規就農や農業従事者への転職を計画している皆さん。品種選びから土壌の改良、植栽方法、栽培管理方法、収穫物の販売までご相談にのります。

貴方の夢の実現に弊社は協力を惜しみません。



わたしたちのソリューション

01

営農事業計画作成やご提案

露地、ビニールハウス等の施設、ソーラーシェアリング等、オーナー様のご希望を伺った上で最適な儲かる農作物をご提案致します。また、営農計画書の作成もご協力します。

02

専門家による意見書の作成

太陽光下部でもしっかり栽培できるという科学的根拠を示す書類、その営農計画や科学的根拠が適正であると保証する「知見を有する者の意見書」の作成ができます。

03

設備の施工、農業資材の斡旋

太陽光設備以外の栽培プラントの設置業者のご紹介や必要となる農業資材や防草シートなども、ワンストップでご用意できます。

04

オンライン栽培技術指導

ZOOM等でのオンライン、動画・写真などを送って頂き、専門家が状態確認を行い栽培指導やアドバイスを行います。

05

現地での栽培技術指導

専門家が出張で現地に伺い、現地で直接栽培技術指導を行います。例えば剪定作業などは、指導員と一緒に作業を行うことで、理解しやすくなります。

06

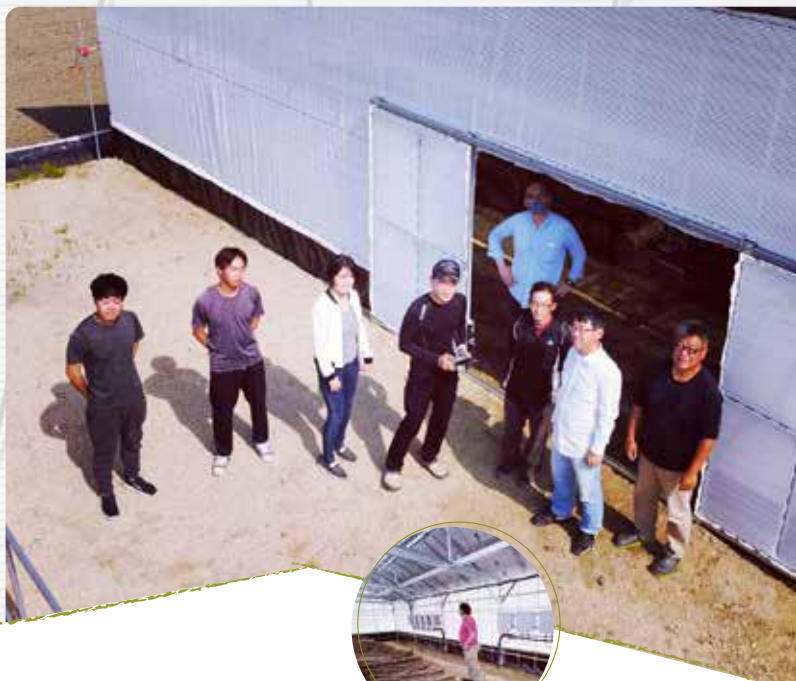
販売先の斡旋、商品の買い取り

栽培した農作物の販売先を斡旋したり、弊社の方で買い取りさせていただきます。

皆様の見学お待ちしております！

私たちは長年培った農業のノウハウをもとに、まったく新しいサービスを構築し、農業を豊かにそして笑顔につながる営農を目指してお客様に最適なソリューションをご提案します。

微力ながら昨今の農業にまつわる諸問題を解決し、社会貢献の一助になるべく少数精鋭で活動中。アグリソーラーハウスで私たちと一緒に農業を盛り上げていきましょう！



アグリソーラーハウス建設までの流れ

受注状況にもよりますが、お問い合わせから建設開始まで最短でも3ヶ月かかります。お客様の圃場状況・予算・スケジュールなどを事前に整理していただけると比較的スムーズに進みます。



※このパンフレットに掲載している発電所は、岡山県玉野市でみんなパワー株式会社と当社が共同事業として行っているものです。

見学・お問い合わせはこちら

■お電話でのお問い合わせ

 **0120-976-785**

月～金曜日9:00～17:00 土日祝休み 担当/大塚

■メールでのお問い合わせ

<https://agri-solar-house.jp/contact/>



AGRI SOLAR HOUSE
アグリソーラーハウス
ホームページ



YouTube チャンネル

アグリソーラーハウス紹介動画を随時アップ中！



■管理・運営元

 **NEXT Innovation**

ネクストイノベーション株式会社

〒706-0224岡山県玉野市八浜町大崎430-12

URL: <https://next-innovations.net/> Mail: info@next-innovations.net